

安城市制施行70周年記念企画展

安城太郎 満70歳 -安城市のあゆみ-

会期:2022年4月9日(土)~6月26日(日)

観覧料:無料

安城市は今年で70周年を迎えます。昭和27年(1952)当時の市の人口は3万7000人程で、市の面積は39.95km²でした。現在では人口が18万人を超え、面積が85.67km²になりました。

この70年間、日本は高度成長期やオイルショック、バブル景気とその崩壊がありました。それと共に公害やゴミ問題を抱え、台風や地震など多くの災害に見舞われました。

その間安城市では町村合併、伊勢湾台風の被災、工場誘致や三河安城駅開業と多くの出来事がありました。市域の産業の中心は農業から自動車関連事業へとかわっていきました。

今回の展示では、70年間の市域の様々な出来事を擬人化した「安城太郎」を通して市民生活の過去から現在の変遷、大きく変化した環境や景観などを紹介します。



市役所開所(安城市蔵)

特別展 怖〜い浮世絵

会期:2022年7月16日(土)~9月4日(日)

観覧料:一般600円/中学生以下無料

江戸時代の終わりごろ、オカルトブームが巻き起こりました。夜な夜な集まり怪談話をする「百物語」という遊びが流行し、怪談話の代表作である「皿屋敷」や「四ツ谷」が小説や歌舞伎の題材にもなるなど、人々の間で、幽霊や妖怪といった「怖いもの」に対する関心が高まりました。また、庶民の娯楽である浮世絵にも幽霊や妖怪が描かれるようになり、浮世絵師たちはその豊かな想像力で、恐ろしくおどろおどろしい怪異たちの姿を次々と描き出しました。

本展では、葛飾北斎や歌川広重、豊国、国芳、月岡芳年など、各時代を代表する浮世絵師達が描いた作品を中心に、江戸時代後期から明治時代にかけて描かれた肉筆画もあわせて紹介します。個性豊かな“お化け”たちが繰り広げる奇々怪々な世界をお楽しみください。



葛飾北斎「百物語」小幡小平治

2022年度下半期の展示

安城市制施行70周年記念特別展

養生から健康へ

会期:2022年9月23日(金・祝)~11月6日(日)

観覧料:一般500円/中学生以下無料

「健康第一」という言葉が表すとおり、人生において健康はもっとも大切だと考えられてきました。本展では、日本における養生・健康観の変遷を探ることで、現代の我々の生活に映し、生かす術を紹介していきます。

飲食養生鑑(本館蔵)



企画展

学制発布150年 勉強っておもしろい?

会期:2022年11月26日(土)

~2023年1月15日(日)

観覧料:無料

文学万代の宝 始の巻(本館蔵)



特別展

家康と一向一揆

会期:2023年2月4日(土)

~3月19日(日)

観覧料:一般500円/中学生以下無料

三州本願寺宗一揆兵乱記(個人蔵)



利用案内

[常設展観覧料] 個人200円(中学生以下無料)・団体(20人以上)160円
障がい者手帳等お持ちの方及び同伴者1名様100円

[開館時間] 9:00~17:00(入館は16:30まで)

[休館日] 毎週月曜日(祝日の場合は開館)・年末年始(12/28~1/4)

交通案内

- 名鉄西尾線南安城駅より東へ徒歩15分
- JR東海道本線安城駅より、あんくるバス(1番系統安祥線)川島行き10分
- JR東海道新幹線三河安城駅よりタクシー20分
- 無料駐車場(230台収容)あり



住所 / 〒446-0026 愛知県安城市安城町城堀 30 番地

電話 / 0566-77-6655 FAX / 0566-77-6600

https://ansyobunka.jp/ 安城市歴史博物館



おらす 珈琲店

9:00~17:30(L.O 17:00)
月曜定休・祝日の場合は営業

安城市歴史博物館 催し物案内

2022.4-2022.9

ANJO CITY MUSEUM OF HISTORY

